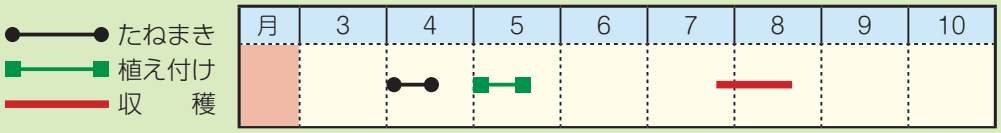
あなたもチャレンジ！家庭菜園

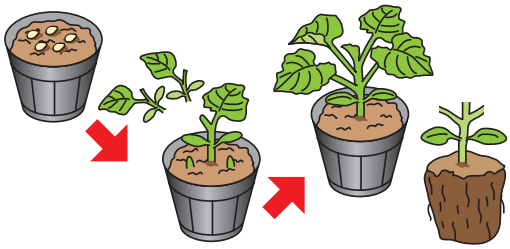
カボチャ　栄養豊富な野菜　水と肥料の与えすぎに注意

カボチャはたいへん強健で、吸肥力が強く、少ない肥料でよく育ち連作障害も出にくく育てやすい野菜です。ただし、大きく繁茂するので狭い畑には不向きです。



①苗作り

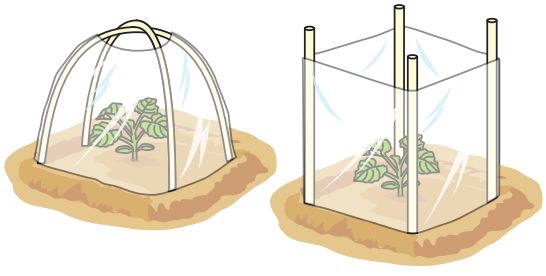
培土を入れたポリポットに3粒程度種を蒔き育苗します。本葉1枚のころ1本立てにし、本葉4～5枚に仕上げます。



ポットから抜いてみて根が全体に周り崩れにくくなった状態にしましょう。

②畑の準備・植付・追肥

畝の長さ1ｍ当たり油粕大さじ5杯、堆肥4～5握りを施用し、よく起こし幅90㎝、高さ15㎝の畝を作ります。株間60㎝で植え付け、株の周りにたっぷり水を与えます。育生初期は保温と害虫防除のためにホットキャップやあんどんをつくりましょう。追肥は蔓の先端辺りの果実が握りこぶしくらいの大きさに生長したら、化成肥料を少しばらまきましょう。



ホットキャップ　　あんどん

③栽培のポイント

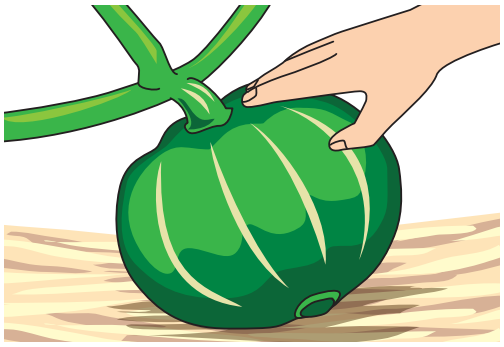
果菜類の中ではもっとも低温、高温に耐え、土壌障害にも強くやせた土地でも栽培できます。しかし、多湿地では病気が発生することがあり、とくに多肥になることにより蔓ぼけして着果しにくいので排水をよくし、肥料の与えすぎに注意しましょう。

整枝…親蔓1本、子蔓2本を伸ばし、他の子蔓は早めにかきとりましょう。蔓は畝の両側へ伸ばすようにし、込み合うのを防ぎます。

人工授粉…実のつきが悪いときは雄しべを雌しべにこすり付けることによって、人工授粉を行えます。

④収穫

開花後45～50日たって果実が成熟し、爪が立てにくい位に硬くなり、ヘタが完全にコルク質のようになったときを見計らって収穫しましょう。



栽培について

営農指導員、最寄りの購買店舗職員にお尋ねください。
種・肥料・農薬などの生産資材のお買い求めは最寄りのJA購買店舗をご利用ください。

営農よろず相談のご案内

「営農よろず相談」では、
・農作物の栽培方法に関すること
・病害虫の防除に関すること
などを中心にご相談を受け付けております。
何かお困りのことがありましたら、身近な相談先としてぜひ一度ご利用ください。

● 電話番号　むよろず
(097)544-6462
※通話料は相談者負担となります。おかけ間違いの無いよう、ご注意ください。

● 受付時間
月･水･金曜日(祝日は除く)8:30～17:00
(受付時間以外の時間帯は、留守番電話となります)

● 設置場所　営農部